

ICA ブリュッセル会合 要旨応募要項

ICA ブリュッセル会合プログラム委員会

プログラム委員会は次のことを行う。

- プログラムのテーマに関する助言
- 発表要旨応募の奨励
- 質及び会合テーマとの関連性に関する選考基準に照らした応募要旨の選考
- 一貫性のあるプログラムとするための発表者の組み分け
- 発表者の多様性の確保

選考は、発表要旨その他、応募フォーム記載の情報に基づいて行われる。

応募者は次の基準を必ず満たしていなければならない。

- 発表はプログラム全体のテーマ又は一つ以上の小テーマを扱ったものであること
- 完成度の高い応募フォームを提出すること
- 発表は ICA 会員のニーズや関心に関係するものであること

次の基準を多く満たした発表提案ほど、選考において高評価となる。

- より広いアーカイブズや記録管理の関係者にとって、魅力的な内容であること
- 効果的な記録管理の利害関係者である上級管理職、戦略担当者、政治家にとっての関心事について述べていること
- ICA の戦略的目標に対する関心を高めかつ／又はその達成を進めるものであること
- ICA プログラム委員会の目的に適いかつそれを助けるものであること（例えば ICA の組織やプロジェクトとの関わりを通して）
- 特別又は革新的な特徴をもった発表となる見込みが高いものであること

発表者

- 単独またはパネル（グループ）の一員として応募できる
- 一パネルの発表者は 2、3 名であること
- パネルとして応募する場合、主たる発表者がパネルを代表して応募し、プログラム委員会からの連絡先となること

発表の詳細

専門家プログラムは、一セッション 90 分×3 という構成になる予定。セッションは次のような構成となることが考えられます。

- 一つのセッション（90 分）で、複数の発表者が共通テーマの下に発表する

- 一セッションを最大2つの小セッション（45分）に分割し、各小セッションは、
 - ◆ 一人の発表者が発表する
 - ◆ 関連のあるテーマを扱う2又は3人の発表者でパネルを作る（発表要旨応募時の申し込みによる場合と、プログラム委員会による場合がある）
 - ◆ 4又は5人の発表者が、各自簡単なポスター・プレゼンテーション又は広報・普及用の冊子を用いた発表を行う

応募者は、希望する発表形式について、応募フォームの該当欄にチェック（✓）を記入すること。しかしプログラム委員会には、すべての応募要旨を検討した後、プログラム全体の流れと内容を勘案し、別のオプションを提案する権利があります。

発表要旨

- 要旨は400語以内とし、図表は含めないこと
- 発表内で分析又は言及する予定のプロジェクトや作品、研究、考察を簡潔に説明すると共に、当初の目的や最終的な成果、結論について述べること
- 要旨には、発表内容やパネルについて、明確な説明がされていること
- プログラム概要に述べる専門家プログラムの論題と発表との関連性を明確にすること。これは、最終的なプログラムで各セッションの内容を明らかにし、様々な要素に一貫性を持たせるようにするためである
- 必要であれば、応募フォーム内で発表テーマと専門家プログラムの論題との関連性について詳述すること

発表言語

応募者は、発表に用いる言語（フランス語又は英語）を明らかにする必要があります。ICAにおける公用語はフランス語と英語であり、発表者募集要項を出した時点では、多言語との翻訳を行う予定はありません。

ICA との関連

発表がICAの組織やプロジェクトと関連したものである場合、プログラム委員会にその旨を知らせること。ICAの目標や成果に関する認識を高めるのは、年次会合の目的の一つです。

応募方法

応募フォームは、2月22日までに crockett@ica.org 宛に送付すること。